

2006 年度

科目名 米文学概論 1	対象学科・学年 文学部英米 2 回生	担当者 北川 文雄
授業テーマ 米文学の要点と特徴の把握		
授業の概要と目標 ヨーロッパの理想郷として発見された新大陸アメリカは、一体どのような意識をアメリカに移住してきた人々の精神に植えつけることになったのか。植民地時代から現代に至るまでの時代と社会の移り変わりを概観し、アメリカの人々の意識を規定する支配的なイデオロギーを検討するとともに、文学はそれに対してどのような姿勢をとってきたのか、主要な作家とその作品を検討しながらアメリカ文学の特徴を探究する。		
評価方法 出席状況と学期末テストを総合して評価する		
テキスト 『はじめて学ぶアメリカ文学史』	著者 板橋好枝 高田賢一編著	出版社 ミネルヴァ書房
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. イントロダクション 2. 序章 アメリカ文学の背景 3. 第1章 植民地時代の文学 (1) Cotton Mather, Jonathan Edwards 4. 第1章 植民地時代の文学 (2) Benjamin Franklin 5. 第2章 アメリカ文学の独立期 (1) Charles Brockden Brown, Washington Irving 6. 第2章 アメリカ文学の独立期 (2) James Fenimore Cooper 7. 第3章 アメリカ文学の開花 (1) Ralph Waldo Emerson, Henry David Thoreau, Walt Whitman 8. 第3章 アメリカ文学の開花 (2) Edgar Allan Poe, Nathaniel Hawthorne 9. 第3章 アメリカ文学の開花 (3) Herman Melville 10. 第3章 アメリカ文学の開花 (4) Emily Dickinson 11. 第4章 リアリズムと自然主義の文学 (1) Mark Twain 12. 第4章 リアリズムと自然主義の文学 (2) Henry James 13. 第4章 リアリズムと自然主義の文学 (3) Stephen Crane, Frank Norris 14. 第4章 リアリズムと自然主義の文学 (4) Theodore Dreiser 15. 第4章 リアリズムと自然主義の文学 (5) Kate Chopin, Willa Cather		